

# シングルレバーカートリッジ

TH537型  
TH552型・THY552型  
TH582型・THY582型

この施工説明書は、上げ吐水タイプ・下げ吐水タイプのカートリッジ取替要領について説明しています。  
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

シングルレバー混合栓のハンドルを動かすときの操作感は、使い始めはやや軽く、使っていくうちに安定してきます。  
これはご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

**部品 (セラミックハルブ) のなじみ**

レバーハンドルを上下または左右に動かすとき、図のAとBの部品がこすれ合います。

使い始めは微細な凹凸でこすれ合う面がせまく軽く動く

凹凸が摩耗し、こすれ合う面が広くなり使い始めより若干重くなる

**操作力の変化**

操作力 ↑

一般のご家庭で使用期間: 半年~2年

安定

使い始め (やや軽い)

→ 使用回数

## 1 部品の確認

シングルレバーカートリッジ

フレアパッキン (2個)

リング (2個)

ばね (2個)

フレアパッキンとリングは一体になっています。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 2 取替方法

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

**注意**

必ず実行

カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

### 1 レバーハンドルの取り外し

レバーハンドルを上引き抜く。

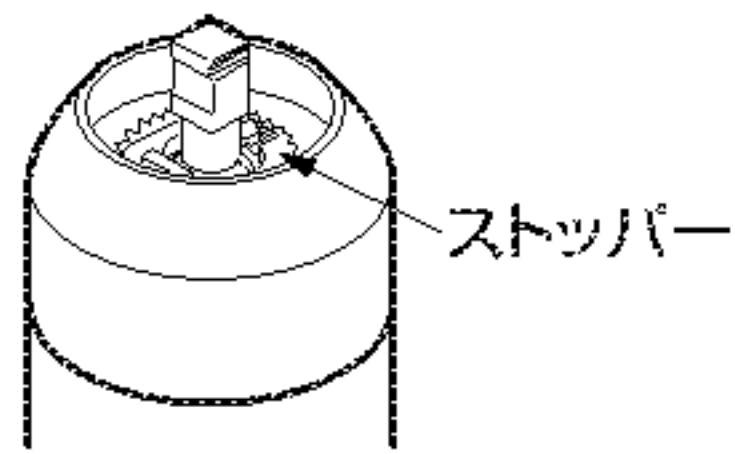
レバーハンドル

## 2 カートリッジ押さえの取り外し

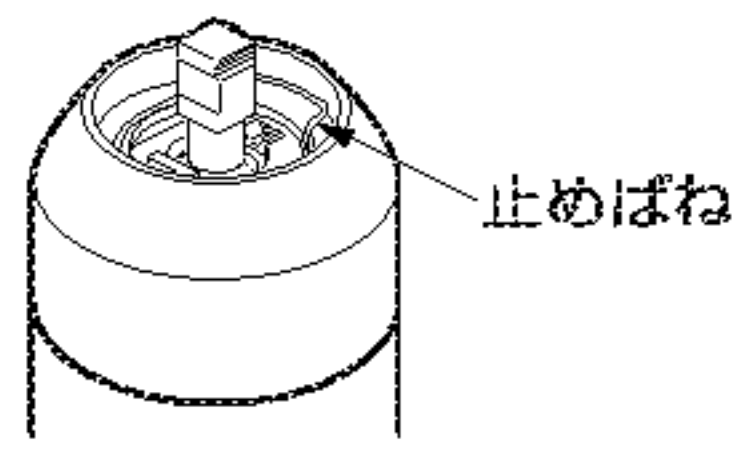
**注意**

カートリッジ押さえのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り外してください。

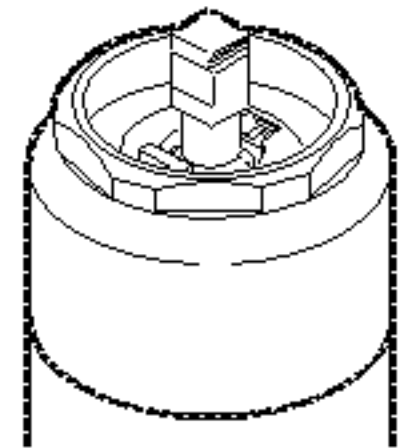
**ストッパータイプ**



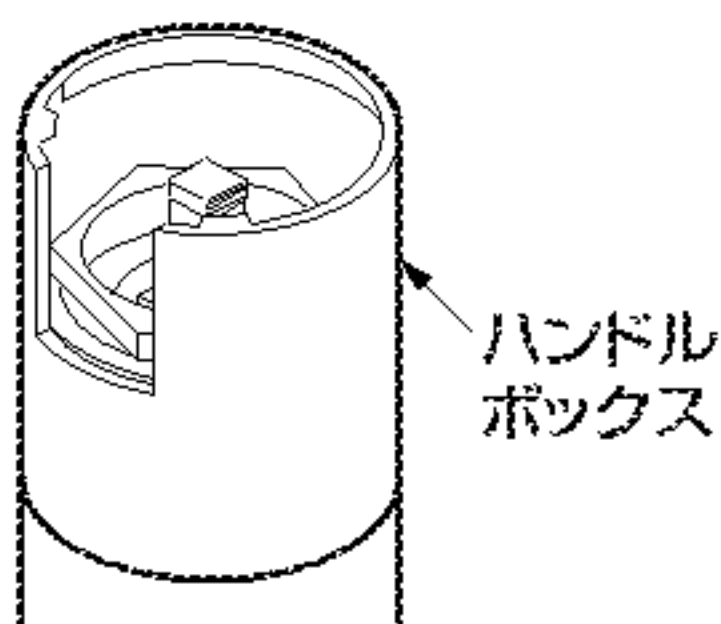
**ストッパータイプ  
止めばね付き**



**六角タイプ**

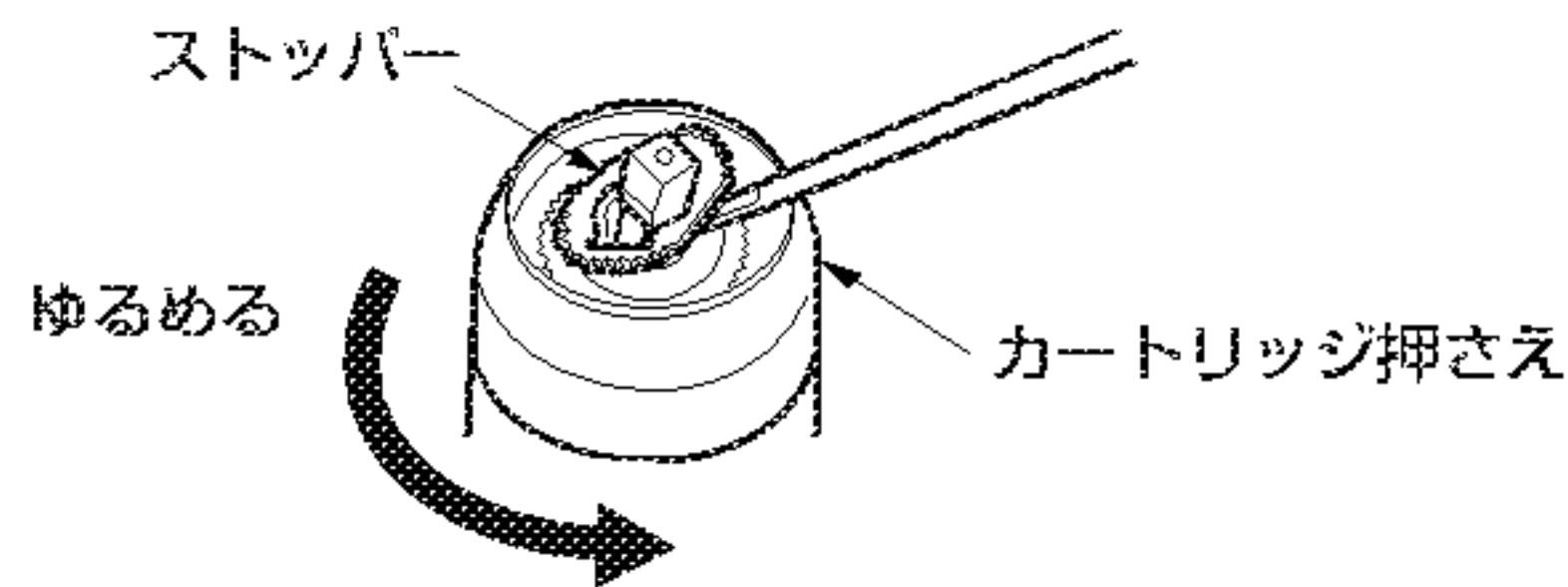


**ボックスタイプ**



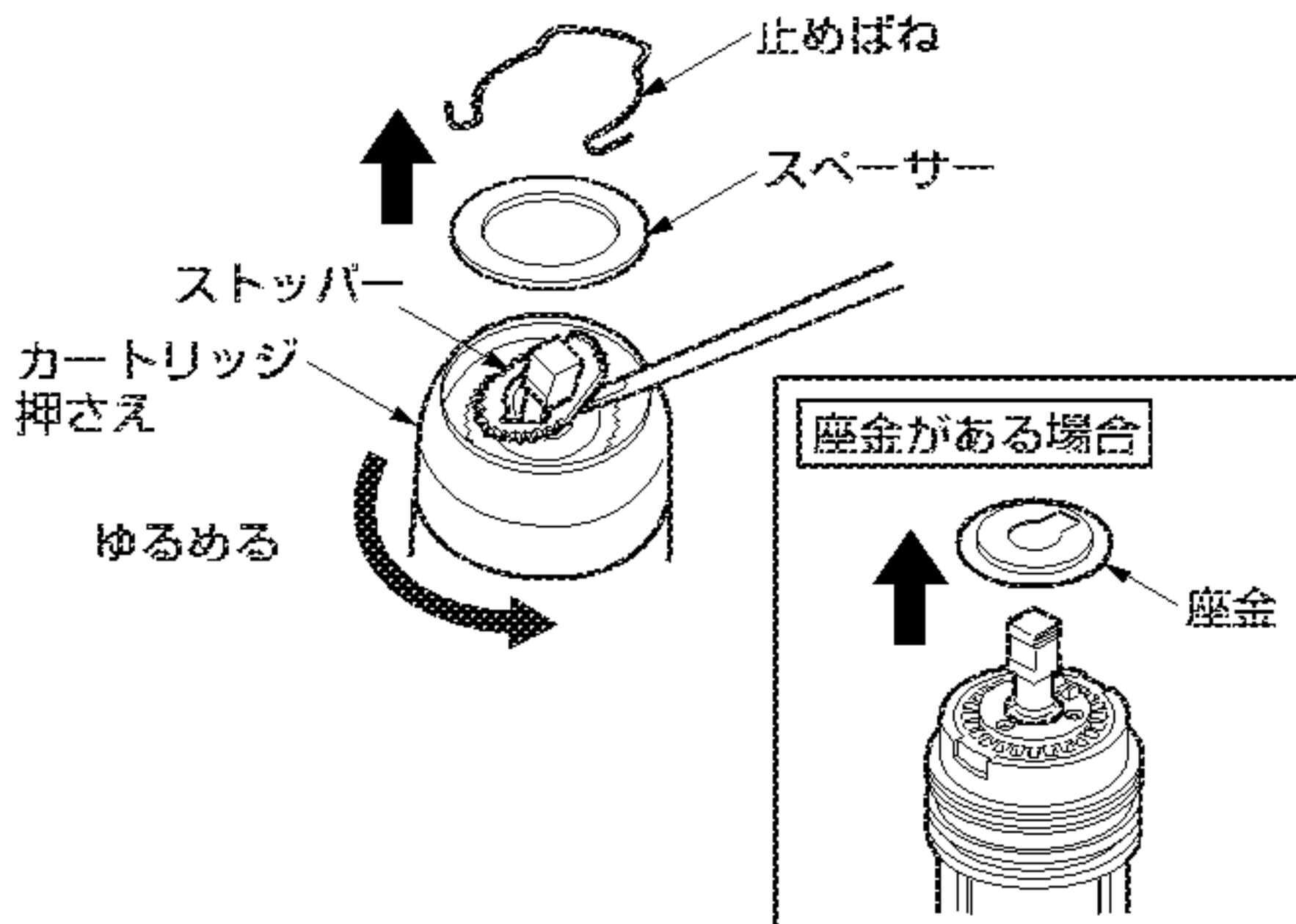
**ストッパータイプ**

- ① マイナスドライバーなどでストッパーを外す。
- ② カートリッジ押さえを手でゆるめて取り外す。



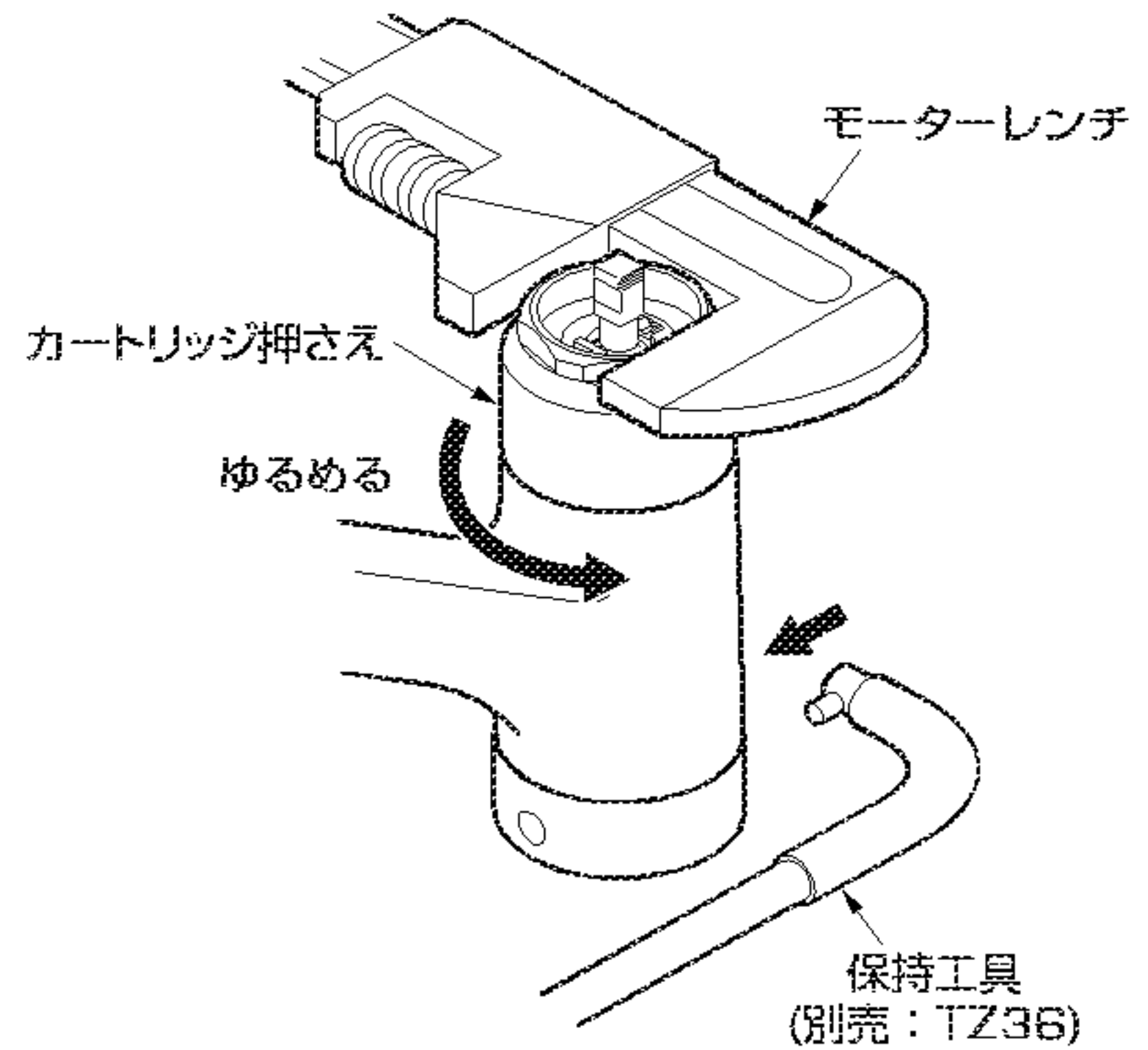
**ストッパータイプ止めばね付き**

- ① マイナスドライバーなどで止めばね、スペーサー、ストッパーの順に外す。
- ② カートリッジ押さえを手でゆるめて取り外す。
- ③ カートリッジの上に座金がある場合は座金を取り外す。(取り外した部材は再使用しますので、捨てないでください)



**六角タイプ**

モーターレンチなどでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。



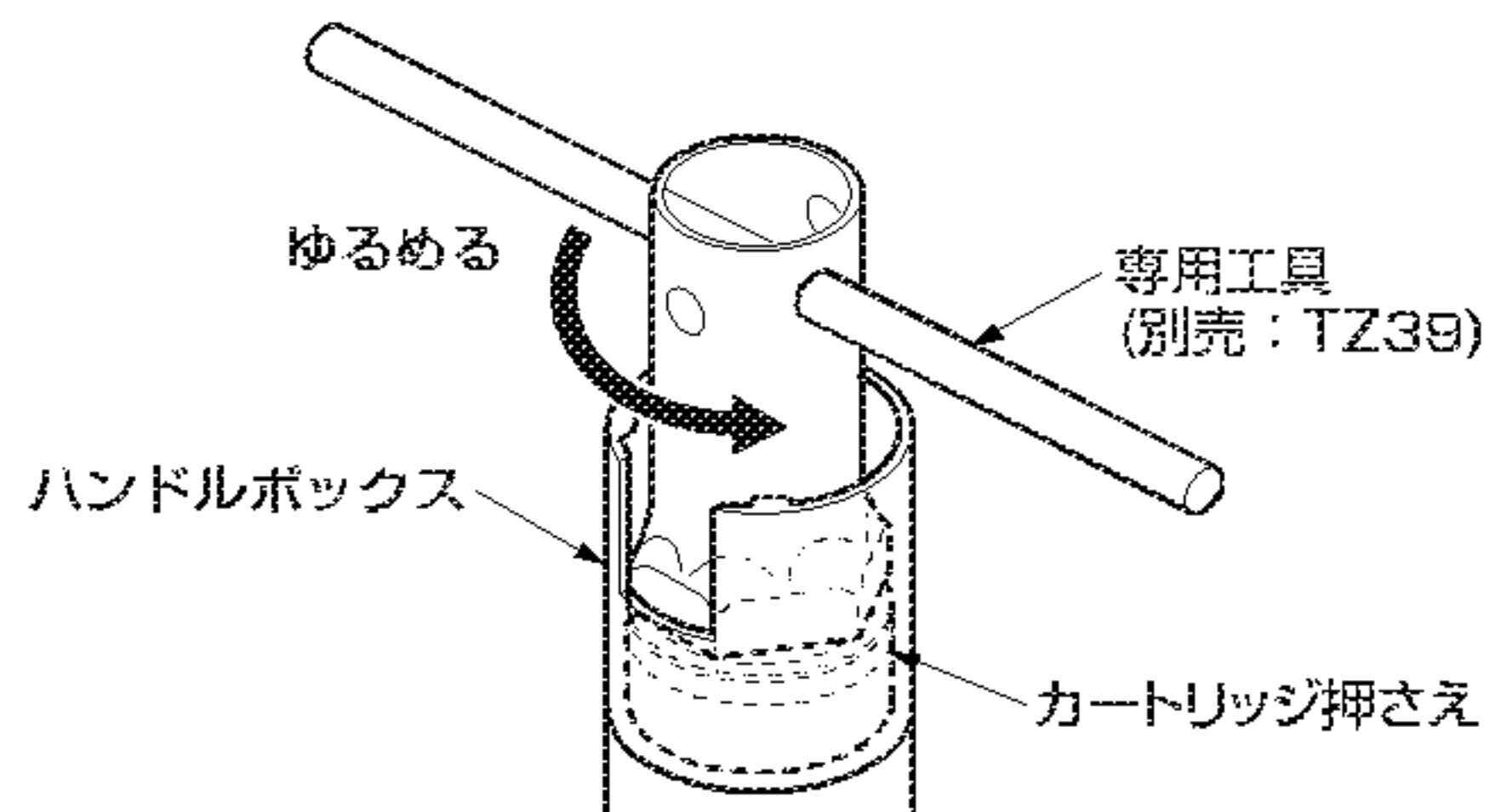
**注意**

水栓が回らないように固定して取り外してください。  
本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売:TZ36)で水栓を固定してください。

水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

**ボックスタイプ**

専用工具(別売:TZ39)でカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。



# 2

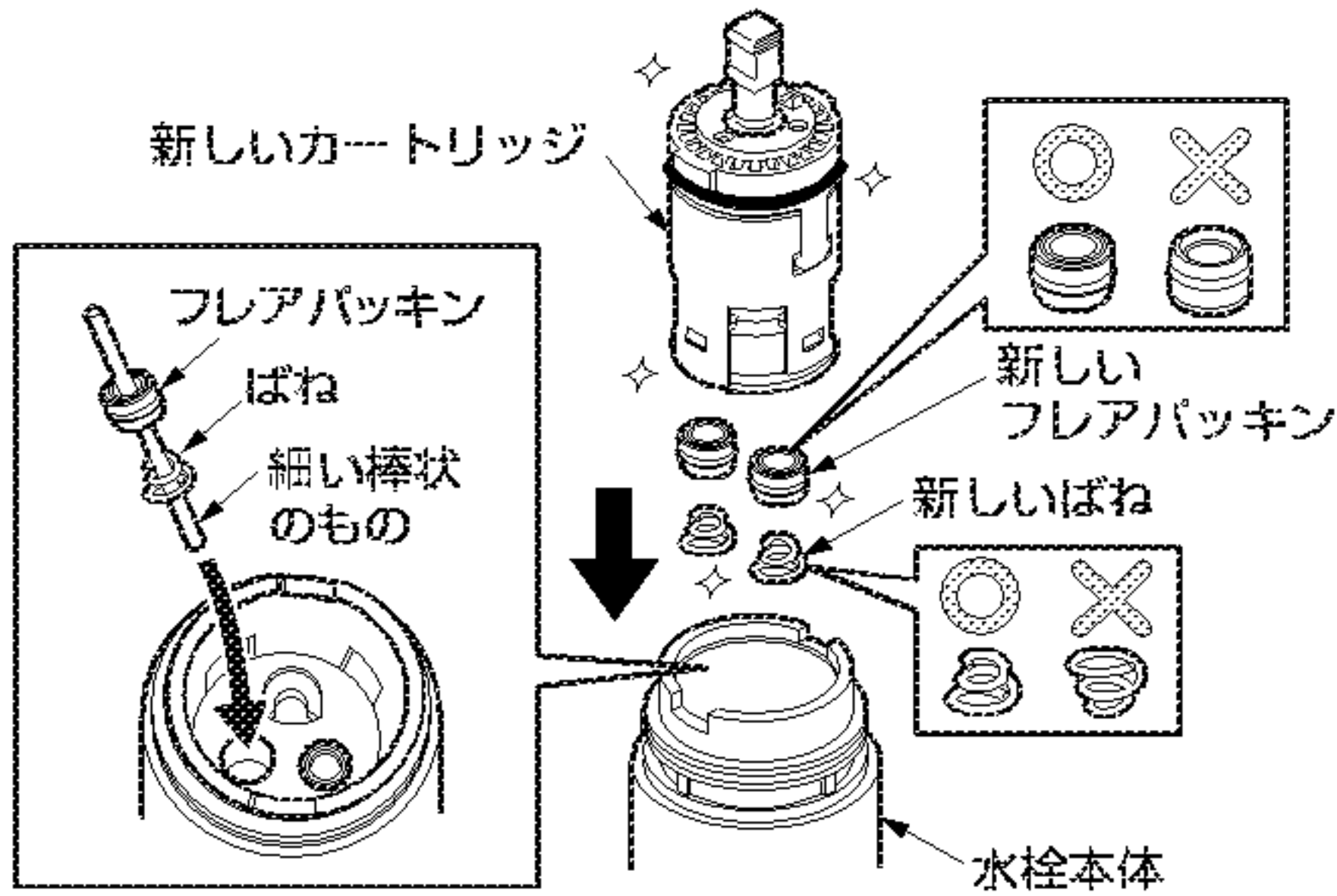
## 取替方法

### 3 カートリッジの交換

- ①カートリッジを取り外す。
- ②フレアパッキン・ばねを取り外す。
- ③新しいばね・フレアパッキンを向きに注意し、細い棒状のものを使用して水栓本体の穴に取り付ける。
- ④ばね・フレアパッキンを指で押し込み、固定する。

#### 注意

- 必ず同梱の新しいばね・フレアパッキンに交換してください。
- ばね・フレアパッキンの向きに注意してください。



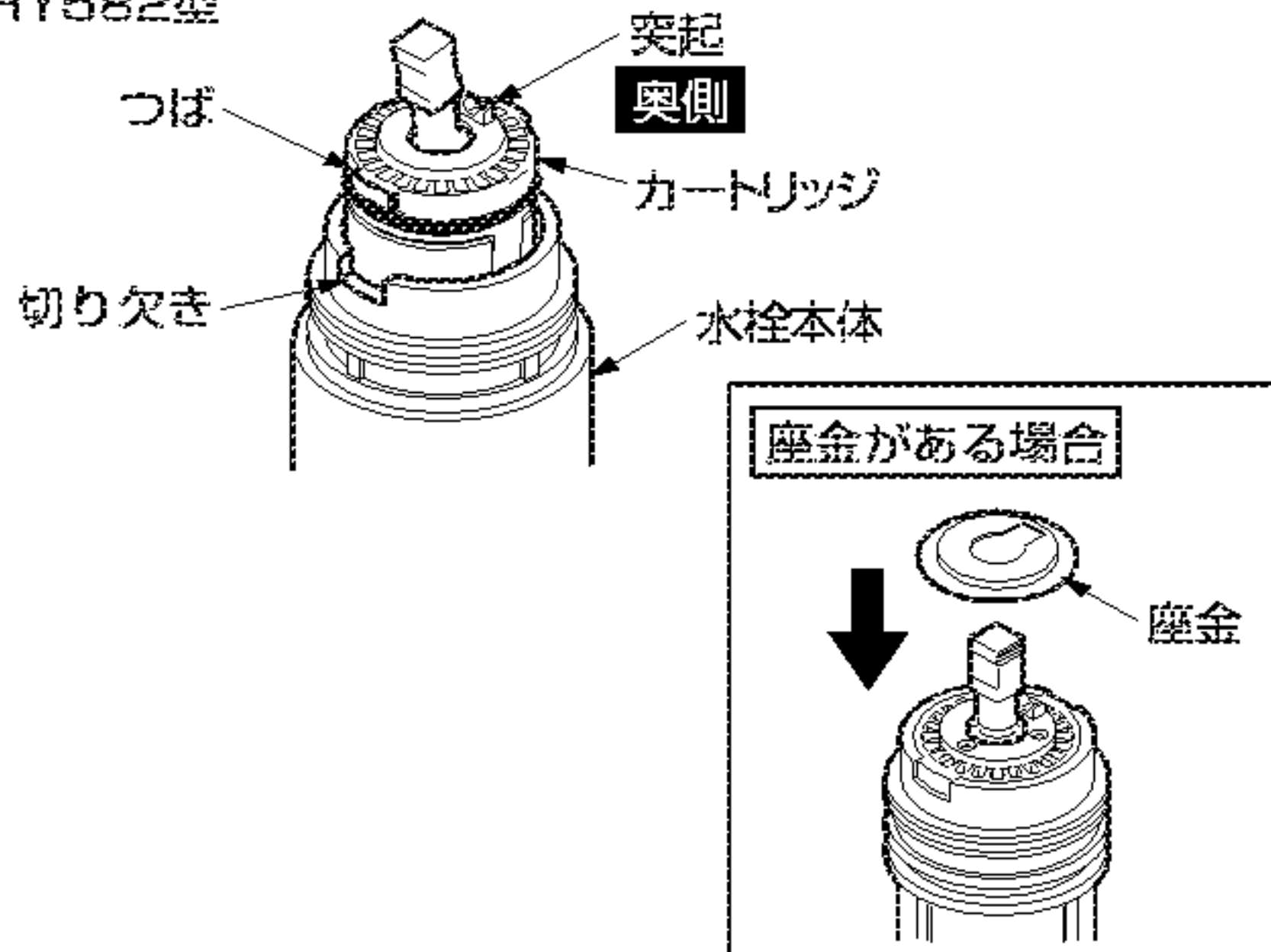
- ⑤カートリッジのつばと水栓本体の切り欠きを合わせて、押し込む。
- ⑥「2 カートリッジ押さえの取り外し」で座金を取り外した場合は、取り外した座金を突起に合わせて取り付ける。

#### 注意

- カートリッジのつばは、前後で大きさが異なるので方向に注意してください。
- 下げ吐水タイプの場合は突起の方向が逆になります。
- 座金の向きに注意してください。

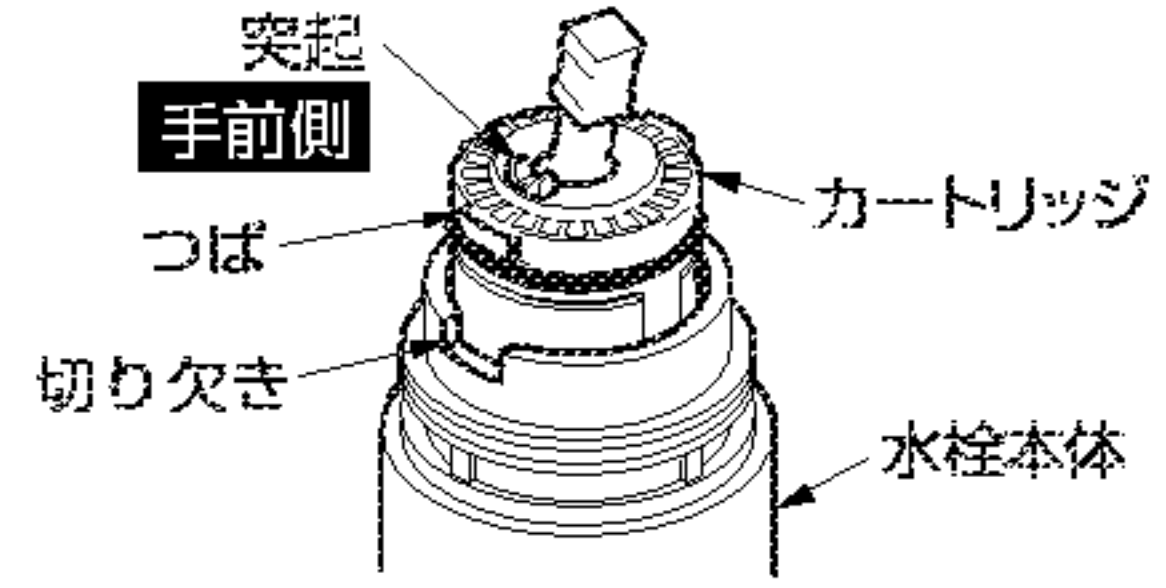
#### 上げ吐水タイプ

TH537型  
TH582型  
THY582型



#### 下げ吐水タイプ

TH552型  
THY552型



### 4 カートリッジ押さえの取り付け

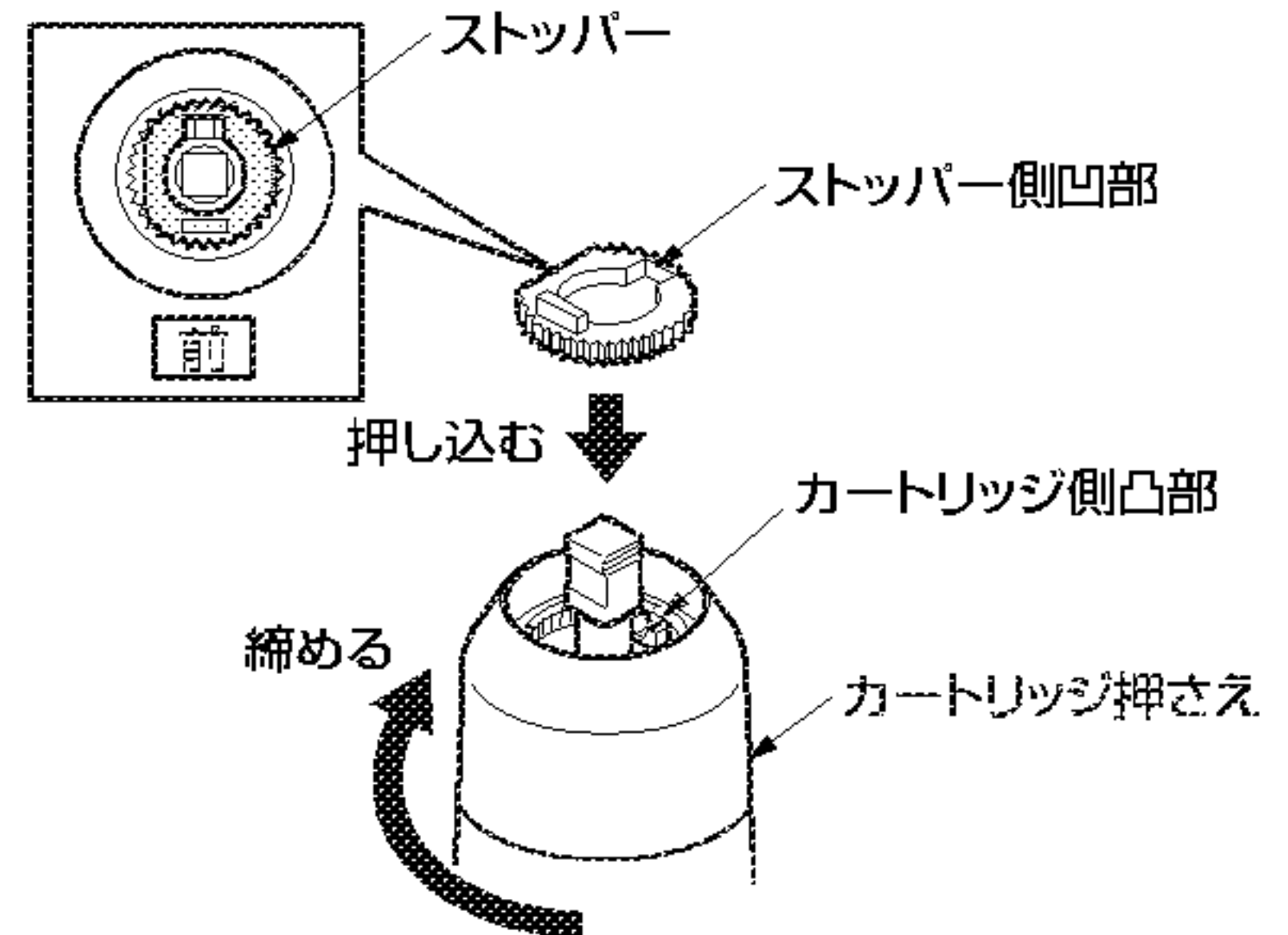
#### ストッパータイプ

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて、ストッパーを強く押し込む。

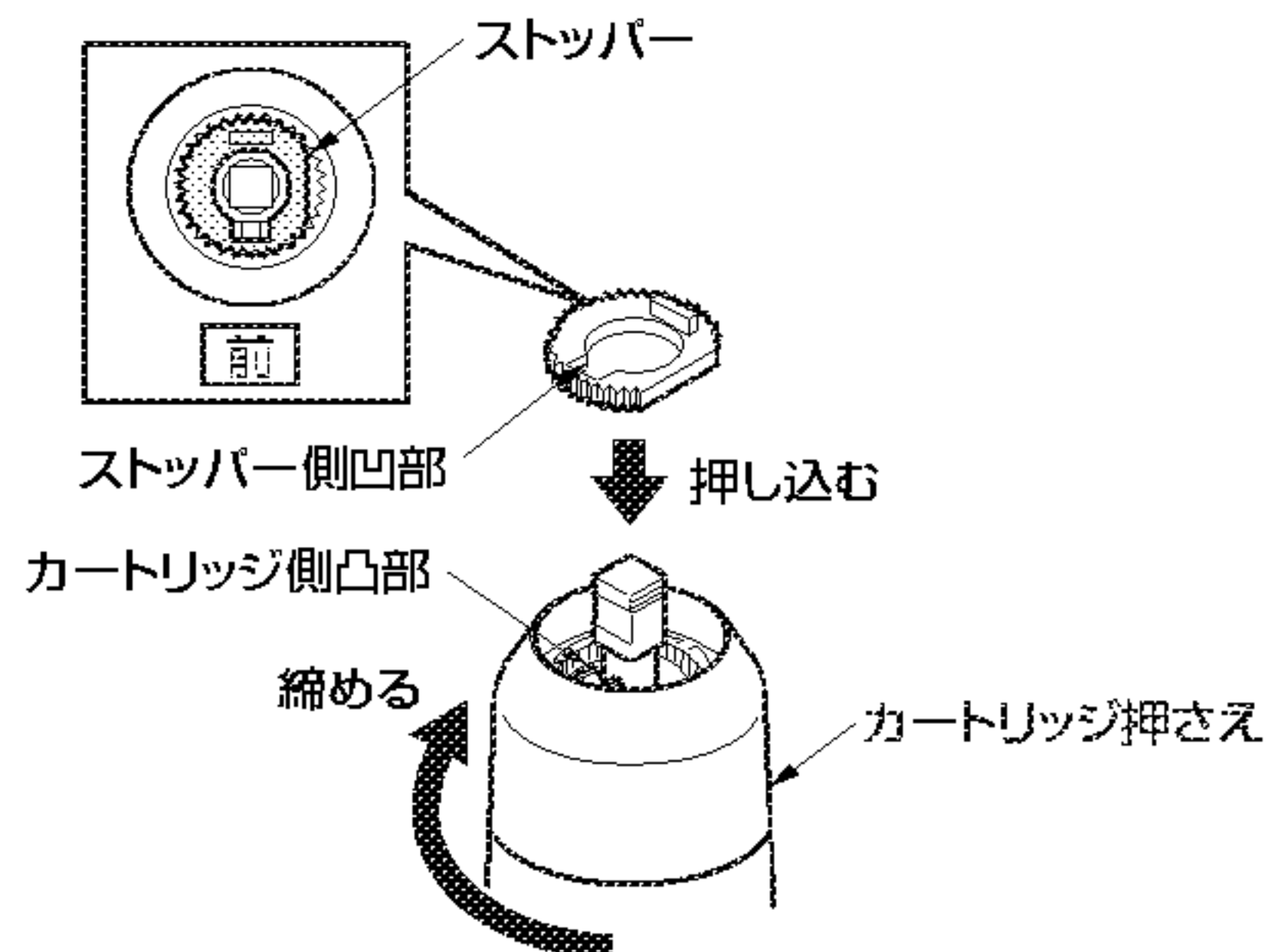
#### 注意

カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを **締め込め方向** に回して歯を合わせるように調整してください。

#### 上げ吐水タイプ



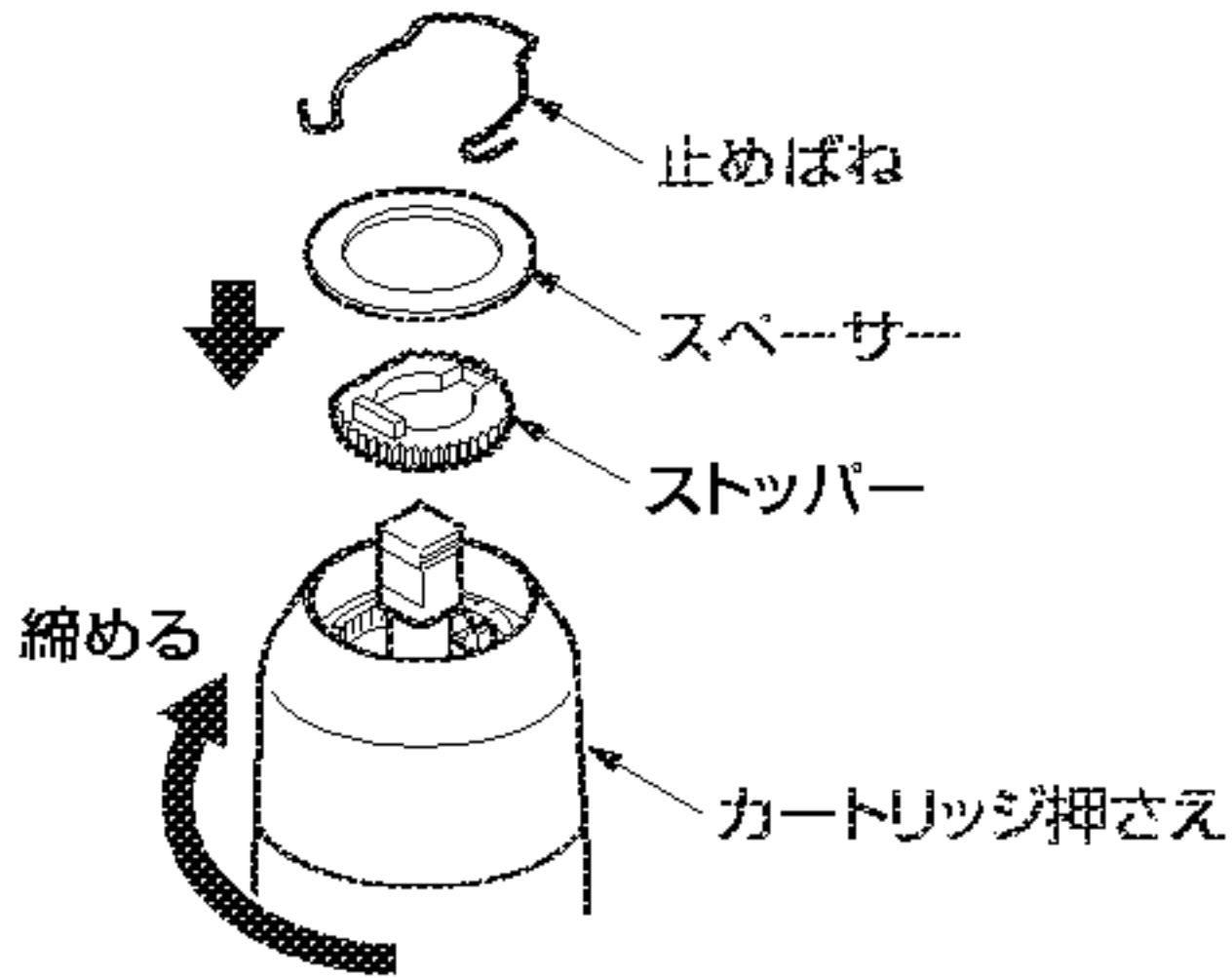
#### 下げ吐水タイプ



4.2

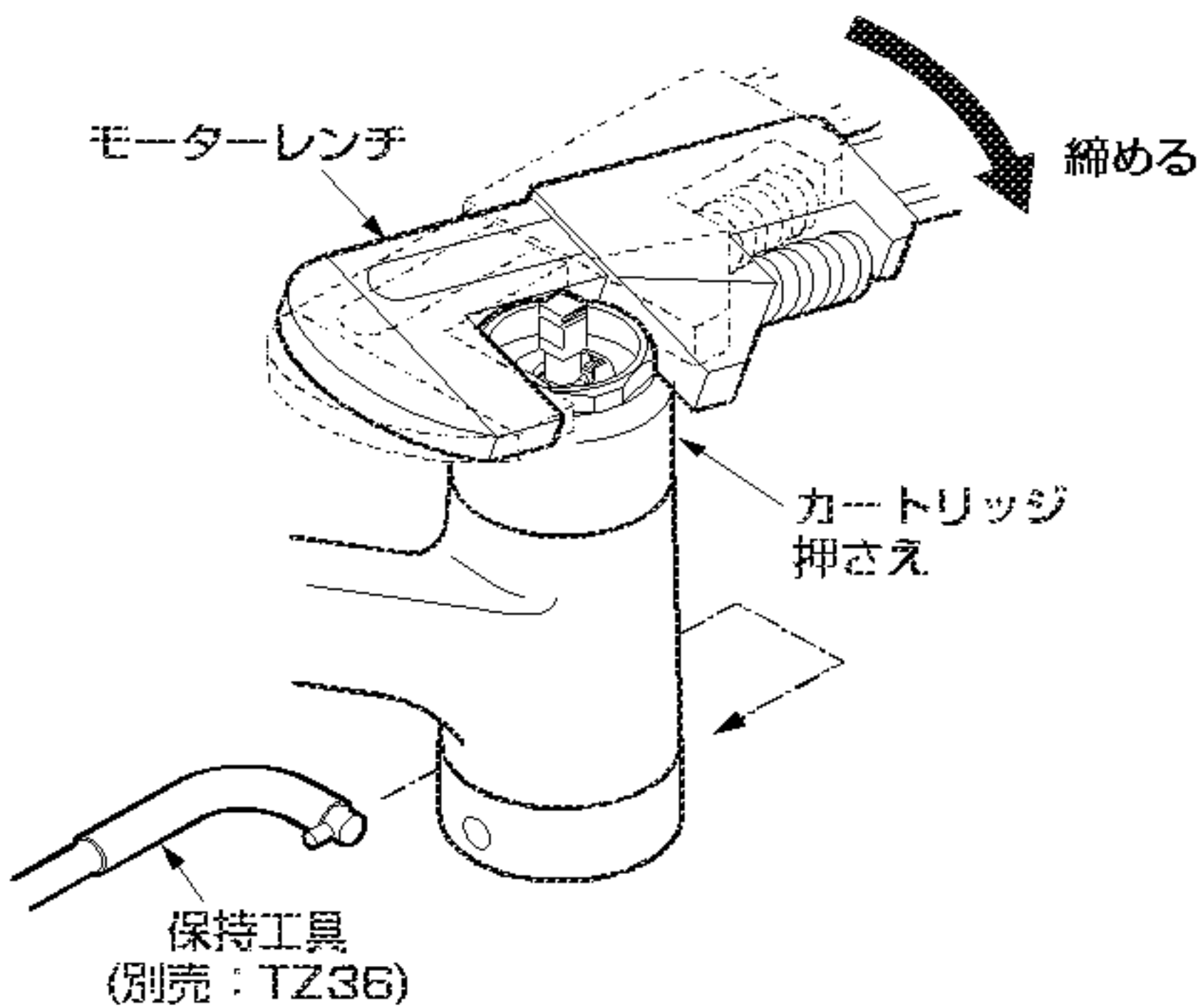
**ストッパータイプ止めばね付き**

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて、ストッパーを強く押し込む。  
(ストッパータイプを参照してください)
- ③スペーサー、止めばねの順に取り付ける。



**六角タイプ**

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②モーターレンチなどでさらに15°くらい回して、確実に締め付ける。**締付トルク 約15N・m**



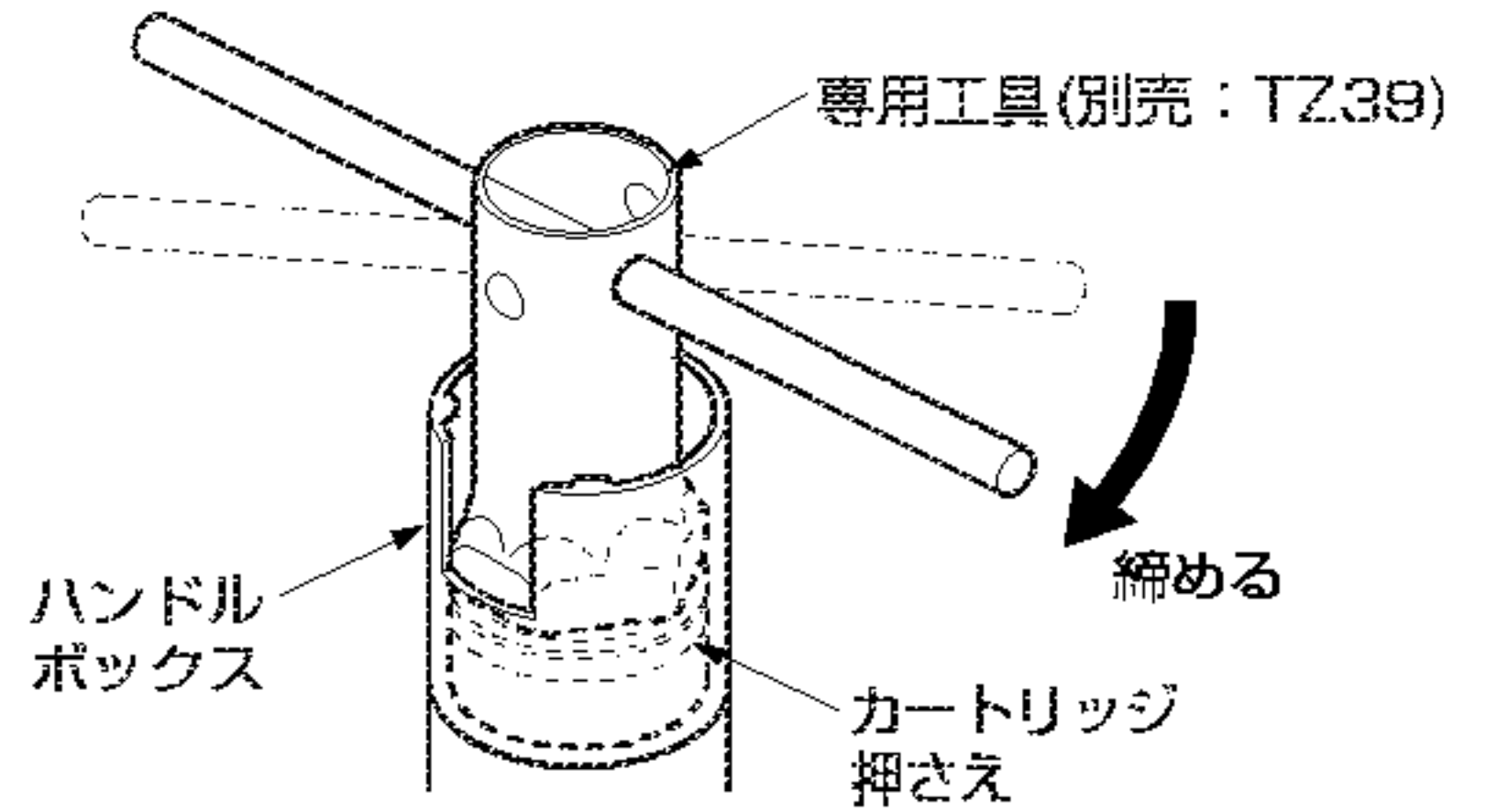
**注意**

水栓が回らないように固定して締め付けてください。  
 本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売: TZ36)で水栓を固定してください。  
 水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

4.3

**ボックスタイプ**

- ①カートリッジ押さえを手で強く締め付ける。
- ②専用工具(別売: TZ39)でさらに15°くらい回して、確実に締め付ける。**締付トルク 約15N・m**

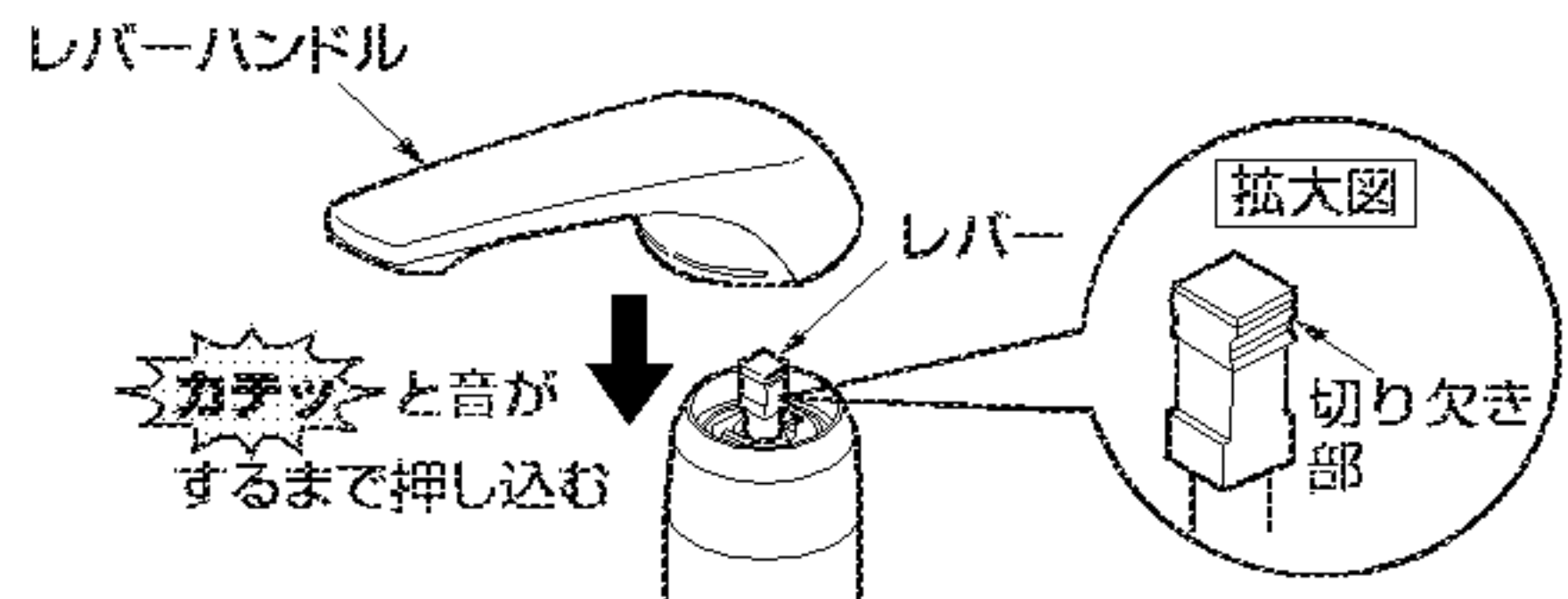


**5 レバーハンドルの取り付け**

- ①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- ②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

**注意**

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。  
 レバーの切り欠きは **こちら** にあります。



**注意**

**重要**

カートリッジ交換後は、必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、通水および水漏れがないか確認してください。